

Well-Being ツアー



近年注目される「Well-Being」とは、肉体的、精神的、社会的全てにおいて満たされた状態を表すと言われています。

屋久島とサンカラで体感する幸福感を、帰宅後もどのように日々の生活において持続できるか、また多様性に満ちた現代で、自分自身とどのように向き合っていくかを改めて考える時間を、サンカラで過ごしていただきたいと思い始めた企画です。

【第一弾「SUP X SAUNA ツアー」】



屋久島の自然を全身に感じながら、ダイレクトに自然を体感できるSUPと、心と体を浄化と言われるフィンランド式サウナのコラボレーションアクティビティが登場しました。美しい安房川で自然に囲まれたSUPを体験した後、川のほとりに設置されたテントサウナをお楽しみください。貸切のアクティビティで気心のしれた仲間とゆったり、屋久島の「水」と「火」を通し、全身全霊で心身を解き放ちましょう。

<料金>

50,000 円～（2名様、4時間）※ 最大4名様まで

<含まれるもの>

SUP用の装備一式、保険料、サウナウォーター、バスタオル、ポンチョ、サウナハット、ロウリュ

※ 貸切制

※ サンカラとガイド会社「Green Mount」の共同企画となります



サンカラ x グラシアニ コラボレーションディナー



サンカラのフレンチレストラン okas 料理長、林とグラシアニ料理長、土肥のスペシャルコラボレーションディナーが一夜限り18組限定で開催されます。

神戸のラメゾン ドゥ グラシニアの料理長が、サンカラの okas にて、オープン以来サンカラの食に情熱を注ぎ続ける okas の料理長と共に忘れられない最高のディナーをご用意します。

2023年6月10日（土曜日）18組限定

1泊1名様 43,900 円～（税込、ディナー宿泊込み）

月桃ウォーター



自然の恵みが詰まった屋久島の湧水と、屋久島に自生する月桃の葉、花、茎を月のリズムでゆっくりと蒸留したハーブウォーターが人気を集めています。赤ワインの34倍ものポリフェノールが含まれ、抗酸化作用も注目される月桃を蒸留した月桃ウォーターは3種類、サンカラのスパ「sankara sana」で販売しています。

- ・ New Moon – 新月の前後3日以内に茎や葉を蒸留
- ・ Full Moon – 満月の前後3日以内に茎や葉を蒸留
- ・ Flower – 花のみを蒸留

サンカラではフットバスで「Flower」、プールサイドサウナ agni のロウリュで「New Moon」をお楽しみいただけます。



屋久島トレラン合宿



屋久島を舞台に、トレイルランニングイベントとして2023年2月24日～26日の3日間「屋久島トレラン合宿」を開催しました。未舗装路のハイキングコースや登山コースを走るトレイルランニング、世界で活躍するトップトレイルランナーの鏑木毅氏と横山峰弘氏を講師として迎え、さらに屋久島が誇るトレイルランナー上田太郎氏とサンカラ アクティビティマネージャーがフルサポート、12名のゲストと屋久島の大自然を爽快に走り抜けました。

合宿中は登山道を走る本格的なトレイルランニングと、世界遺産エリアを走るロードラン、鏑木氏による講演会など、天候にも恵まれ充実の3日間となりました。また、今後のサンカラの新たな挑戦の一歩として、運動時に必要な栄養素や、回復を促す食材などを採り入れた、アスリートのための特別なディナーを考案し、トレイルランニングに適した体も心も満たされる美味しい食事をお楽しみいただきました。



この度のトレラン合宿の取り組みを追ったドキュメント番組がKKB 鹿児島放送で特集され、さらに屋久島でのトレイルランニング人気が高まっています。

このイベントは毎年開催を目指しています。

KKB 鹿児島放送「Kingspe～キンスペ～」にて放映
【HASHIRU 屋久島】[Youtube](#) で公開中



近自然工法による登山道の整備

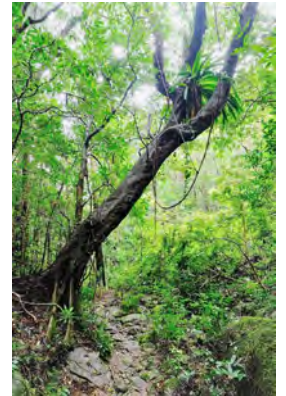


サンカラでは、屋久島の自然環境保護事業や、自然災害義援金として活用させていただくため、ご宿泊のゲストから1回につき500円の「サンカラ基金」を頂戴しています。2022年11月、お預かりしたサンカラ基金の一部、約120万円「近自然工法」による登山道整備と、その講習を行いました。

昨今の登山ブームで自然への関心が高まる一方、山に入る人が増え、全国の登山道の崩壊が問題となっております。屋久島も例外ではなく、登山者の踏圧やここ数年の大雨の影響もあり、えぐれた登山道が目立つようになりました。登山者は荒れた登山道を通る際、その脇を歩くようになり、さらに脇も荒れ悪循環となり周辺全体の植生を破壊し、どんどんダメージが広がっていきます。

サンカラでは過去2回、環境省と地元ガイドの努力により北海道の「大雪山山守隊（やまもりたい）」の岡崎哲三氏をお招きし、「近自然工法」による登山道整備をご指導いただいております。そして、昨年11月に第3回目として6日間の講習を開催し、屋久島ガイドをはじめ、登山道修復を学びたい勇志による登山道の修復が行われました。4日間で白谷雲水峡の「七本杉」と「くぐり杉」の周辺を、2日間でサンカラの裏山コースの整備が完了しました。引き続き、これまでの講習で学んだ技法を用い、白谷雲水峡の登山道の整備を続けております。

この度の「近自然工法」を用いた修復整備で、サンカラの「裏山コース」と呼んでいたトレッキングコースは、「麦生の森」として一新しました。



【麦生（むぎお）の森】



「麦生の森」は古くから屋久島とその住民に寄り添い、集落の人たちの生活の森であり、奥岳へ登拝する山岳信仰の道のりの入り口でもありました。山神の祀られた祠の周囲には、椎の巨木や石畳が残り、当時の面影を残します。「麦生の森」の奥で眼前に広がる、美しい照葉樹林もかつては西日本一帯を覆っていましたが、今日の日本では古くからの人間活動とのぶつかりにより、社寺林などに断片的に残るに過ぎません。原生林と呼べる森は、鹿児島県、宮崎県、沖縄県などの一部にごくわずかに残るだけになってしまいました。

「麦生の森」は国内でも希少な植物たちの生息が確認され、生物多様性の観点からも未来へ残すべき貴重な自然です。サンカラにご宿泊の際には、今尚残る自然のパワーをご体感ください。

sankara hotel&spa 屋久島の詳細は [こちら](#) よりご覧いただけます